

令和元年度 第1回『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会 議事要旨

日 時：令和元年5月8日(水)10:00-12:00

場 所：島根県職員会館 健康教育室

出席者：別紙出席者名簿のとおり

【議事】

(1) 規約の改定について

○構成員の変更

資料-1 で事務局より説明

名簿を令和元年5月8日付で変更

(2) 今年度の活動(案)

○生き物調査について

資料-2 で事務局より説明

○啓発活動について

資料-2 で事務局より説明

「松江堀川の水質改善活動」説明資料で千鳥のお堀を学ぶ会より説明

(2) その他

○ホシザキグリーン財団の環境修復に関する調査研究

資料-3 でホシザキグリーン財団より説明

○水草、藻の繁茂に対する調査、検討について

資料-4 で事務局より説明

○来年度の活動スケジュール

資料-5 で事務局より説明

【質疑・意見】

《生き物調査、啓発活動、ホシザキグリーン財団の環境修復に関する調査研究について》

- ・生き物調査は今まで用いたワナで実施するのか。
→昨年度と同様のワナを引き続き使用する。
- ・新規イベントへの参加は予定しているか。
→今のところ予定していない。啓発に適したイベントがあれば情報提供いただきたい。
- ・啓発看板への記載内容は決まっているか。
→千鳥のお堀を学ぶ会を通じて地元小中学生に考えて貰うことなどを検討している。
- ・外来種対策は目標設定が重要となり、これにより活動内容が大きく変わってくる。
- ・防除活動は継続していくことが重要であるため、様々な機関が活動できるよう体制づくりを行う必要がある。外来種の処分方法も含めた検討が必要になる。
- ・時代とともに松江堀川を取り巻く状況が変化している。これの歴史を学ぶと活動の幅が広がっていくと考える。

《水草、藻の繁茂に対する調査検討について》

- ・透明度調査の方法はどのように決めているか。
 - 調査員の負担にならぬよう簡易的に計測できる方法を検討し採用している。
- ・シオグサが悪臭等の環境への影響を与えているため、これに焦点を当て調査する方が良い。